メディクリーンシリーズ

# mediclean

消毒 殺菌 抗菌 抗ウイルス 防カビ 消臭

菌が原因の悪臭
感染症対策の
決定版!

アメリカ合衆国環境保護庁
EPA認証

ウイルス
カビ
バクテリア
増殖させない

## アルコール・塩素の消毒・殺菌を超える。

原液で使う
防虫タイプ

原液で使う
標準タイプ

希釈で使う
洗剤タイプ









## エックス590 X-590




原液使用　中性

E.P.A. Reg. No. 70385-3
E.P.A. Est. No. 70385-PA-001

**ホテル・レストランに最適。**
**虫を駆除。施工後は寄せ付けない。**

**エックス590 が有効な害虫**

ダニ・ノミ・シラミ・南京虫（ベッドバグ）・シミ（本などに付く虫）・ヒメカツオブシムシ・ゴキブリ・アリ・ワラジムシ・ムカデ・ハエ・蚊・スズメバチ・蛾・ブヨ等。

## ワイバーン Y-VERN




原液使用　中性

E.P.A. Reg. No. 70385-5
E.P.A. Est. No. 70385-PA-001

**マイクロバンの強力な効果を**
**しっかり訴求できる標準タイプ。**

硬質表面だけでなく、カーペットやベッドなど繊維にも対応できます。
マイクロバンの成分が素材表面に残留しておれば、効果は永久的に続きます。
施工可能面積：76 ㎡～ 95 ㎡

## ゼットワン Z-ONE




希釈使用　アルカリ性

E.P.A. Reg. No. 70385-6
E.P.A. Est. No. 70385-PA-001

**ワンステップで洗浄と殺菌。**
**医院・施設の日常清掃に効果をプラス。**

マイクロバンの機能に洗浄効果を併せ持たせました。
希釈率は 65 ～ 250 倍。施工可能面積は 49 ㎡～ 950 ㎡。アレンジしやすい仕様です。

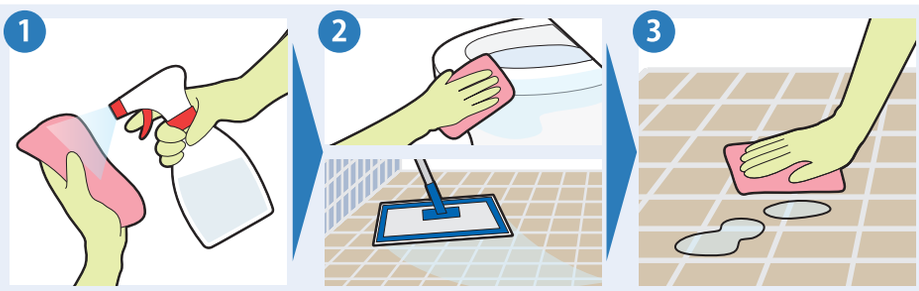
●消臭作業に入る前に洗浄および清掃を徹底することにより、確かな結果を得られます。●各製品の詳細情報は QR コードからアクセス！

## 塗布

【適する対象】
・汚染しやすい場所
・浸透性が無い素材

【使用箇所の例】
トイレ、浴室、洗面所、ロッカー、ドアノブ、電話機、ゴミ箱、床、壁

【期待できる効用】
・水虫の接触感染予防。
・細菌性腸炎の予防。
・性感染症の予防。
・カビの繁殖を防ぐ。
・塗布部分の滅菌。
・塗布部分の脱臭。



1 モップ、スポンジ、ウェス等に含ませる。

2 こするように塗り伸ばし、10 分以上湿った状態を保つ。

3 液溜まりしている場合はウェス等で拭き取り、完全に乾かす。

## 噴霧

【適する対象】
・閉ざされた空間

【使用箇所の例】
手術室、病室、実験室、研究所、ロッカールーム、倉庫、工場

【期待できる効用】
・室内全域の滅菌。
・食材の衛生管理。
・室内全域の脱臭。
・カビの繁殖を防ぐ。




1 防護のための服装を整え、換気扇を作動させる。

2 スプレーヤー、フォガーで室内全体に拡散させ、退室。

3 薬液の臭いが消えるまで入室不可。（約 1 時間）

**⚠ 使用上の注意** 必ず使用方法を守ってご使用ください。

●密閉された場所を施工する場合は必ず換気を行ってください。●皮膚や衣服に付かないように注意してください。●吸入しないように必ずマスクをしてください。●ご使用後は必ずしっかりとフタを閉めてください。●直射日光の当たる場所や高温の場所には保管しないでください。●通気の良い冷暗所に保管してください。●水・食べ物と一緒に保管しないでください。●凍らせないでください。●廃棄の際はボトルをよくすすいでから廃棄してください。●子供の手の届くところに置かないでください。●開封後 1 年以内で使用してください。

### mediclean Microban(R) の抗菌技術を採用しています

Microban International, Ltd.（マイクロバン・インターナショナル）の抗菌殺菌技術は、世界 30 カ国で 1000 を超える製品に採用されており、信頼と実績があります。
Microban(R) 抗菌技術は菌が繁殖しようとする機能を妨害・低下させる技術です。消毒などと異なり、時間の経過とともに菌は繁殖できずに減っていきます。

### 有効なウイルスおよび菌の種類

新型インフルエンザ（Ｈ１Ｎ１）・鳥インフルエンザ・大腸菌・ＭＲＳＡ・ノロウィルス・サルモネラ菌・エイズウィルス（ＨＩＶ-1）・Ｂ型肝炎ウィルス・Ｃ型肝炎ウィルス・白癬菌（水虫菌）等。
消臭効果は、上記菌種およびカビ・バクテリア由来の悪臭に限ります。

S.M.S.Japan

製造元 : PRORESTORE PRODUCTS
米国特許 No. 3,458,629

正規輸入代理店
株式会社 S.M.S.Japan
横浜市港北区新羽町 695-3
TEL:045-717-5225
FAX:045-717-5227
http://www.smsjapan.jp